

やまがた

元氣

農の風

NO.28

山形県飯豊町

みさわ

ゆうじ

三澤 優治 さん

家族で東京都から飯豊町に移住し新規就農。現在はハウス5棟100a（露地含む）にトマト・きゅうり・ブロッコリー・わさび菜を栽培し、充実した生活を送っています。

飯豊町



就農のきっかけ・思いをお聞かせください。

関東で会社員をしていましたが、以前から農業をやりたい気持ちがあり、平成29年に東京で開催された農業人フェアに参加し、農業体験を行いました。その時の飯豊町の親切な対応と、その後も就農に向けて背中を押してくれたことがきっかけです。

平成29年7月に、家族4人で東京都から飯豊町へと移住し、平成31年4月にハウス4棟76a（露地含む）での野菜作りから農業をはじめ、現在はハウス5棟100a（露地含む）まで規模拡大し、妻（恵美（めぐみ）さん）と二人で経営しています。

栽培農作物は、就農当時と同じくトマト、きゅうり、ブロッコリー、わさび菜です。



三澤優治さん

ハウスの前で三澤さんご家族
(画像提供：飯豊町)

トマトを栽培するハウス

農業の魅力とご苦労についてお聞かせください。

農作物を一から栽培し収穫することや、自分達が経営者として計画を立て、農業経営を行うことが楽しみとなっています。

東北地方は農作物の収穫が夏場に集中するため、この時期は朝から夜まで作業に追われ、高温となるハウスの作業は特に大変です。

冬はわさび菜を収穫していますが、ハウスの間の除雪・排雪作業に苦労しています。

昨年8月の豪雨災害では、露地野菜が冠水するなど、農業の厳しさを経験することになりました。



トマトの誘引作業をする三澤さん

今後の目標や夢をお聞かせください。

就農して5年目を迎え、来年からは補助金が無くなりますが、今後も農業経営を頑張っていきます。

肥料や資材等の高騰が続く間は、無理な規模拡大を行わず、今は自力をつけて経営の安定を図り、将来展望が拓けたら、従業員を雇用して規模拡大も進めていきたいです。

収穫されたトマト
(画像提供：飯豊町)

東北農政局 山形県拠点 地方参事官室

TEL:023-622-7231/FAX:023-622-7256

